

りんくうタウン駅ビルESCO事業提案審査の講評

本ESCO事業は、昨今、節電や省エネ対策の機運が高まっていることを踏まえ、大阪府では初となる商業施設を対象として提案公募を行ったものです。

提案公募に当たっては、ESCO方式によるLED照明導入提案を一定求めることとし、その上で空調方式について、現状の熱源を前提とした「基本提案」と、さらに熱源の変更を含む「代替提案」も可能としました。

このような条件のもと、「基本提案」は1グループより、「代替提案」は2グループよりご提案をいただきました。各グループともにその技術力をいかに発揮された結果、公募条件を大きく上回る省エネルギー効果の高いご提案でありました。

審査にあたっては、事前に公表している審査要領及び募集要項に基づいて行い、その結果、総合評点の最も高い順に最優秀提案、優秀提案を選定いたしました。

まず、「基本提案」につきましては、アズビル株式会社、芙蓉総合リース株式会社よりご提案いただきましたが、条件付けた必須改修本数を上回る本数の約1,700本のLED照明化を含む省エネルギー率約25%の「基本提案」を最優秀提案といたしました。

次に、「代替提案」につきましては、アズビル株式会社、芙蓉総合リース株式会社のご提案では、代替熱源として空冷ヒートポンプチラーとヒートポンプ給湯機を導入し、約1,700本のLED照明化や空調機ファンのインバーター制御等と合せることで約30%の省エネとなり、また、大阪府の利益は補助金有りの場合で年間当たり約3,700万円、15年間総額で約10億円と相当高く、大阪府にとって非常に魅力的なもので総合的な観点からも優れていたことから「代替提案」の最優秀提案といたしました。

また、ダイキンエアテクノ株式会社、JA三井リース株式会社のご提案につきましても、空冷ヒートポンプチラーとヒートポンプ給湯機の導入や改修必須本数を上回るLED照明化等の手法により、公募条件を大きく上回る省エネ率、大きい光熱水費削減額を提案されましたが、総合的な観点から、前者の提案に及ばず優秀提案といたしました。

最後に、多大なるご労力をかけ、貴重なご提案をいただいた応募者の皆様に、あらためてお礼申し上げます。

以上

大阪府ESCO提案審査会ESCO事業者選定部会
部会長 相良 和伸